令和７年度　学校自己評価システムシート　　日高市立高萩北中学校

目指す学校像	「未来を創造する力を育む学校」
重点目標	１開かれた学校づくり　２確かな学力の向上　３豊かな心の育成　４健やかな体を育む環境整備　５教職員の資質向上

学　校　自　己　評　価

年度目標				年度評価（令和 ８年１月２１日現在）						学校運営協議会での評価	「学校運営協議会での評価」を受けて
評価項目	具体的方策		評価指標	評価基準	教職員の割合	保護者の割合	目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策 （・次年度へ継続する課題 ・改善していくための方向性）	実施日　令和　８年　１月２１日 学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等	「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等 （※変更点や追加事項等がない場合は空欄）
組織運営の充実 小中一貫教育の視点	・職員会議提案資料に学校教育目標との関連を明記し、一貫した方向性を持って全ての教育活動を行う。 ・誰一人見捨てない姿勢を貫き、いじめを予防する。	1	学校教育目標「自立・創造・貢献」を目指して努力している	Ａ＋Ｂ	94.7%	89.8%	・学校行事では、生徒が主体となって活躍する場面を意図的に設けることで成就感を持たせられた。 ・アンケートの実施により、いじめの早期発見と対応ができた。また2者相談・3者相談等を通じて、子どもの抱える課題に早めに対応することで、子どもたちにとって楽しく通える学校にできた。	X	・生徒にも「自立・創造・貢献」は合い言葉のように浸透している。今後も学校教育目標を生活の中で意識させていく。 ・職員間の情報交換を密にし、生徒の様子小さな変化も情報を共有し、全職員で見守る体制を継続する。	・子どもたちが抱える課題がどのようなものかを考え、その解決のために学校、家庭、地域が役割を果たし、連携、協働体制の強化を図ることが望ましい。 ・目標通りに運営されていると思う。 ・良いことは褒め、ダメなことはダメという一貫した指導を続けて欲しい。 ・「自立」ということでは浸透しており、自覚を持って行動しているように見受けられる。今後も更に推し進めてもらいたい。 ・中学生は進学に向けての準備期間でもあるので、いろいろチャレンジして過ごしてほしい。 ・いじめ予防、早期発見のためアンケート、面談は継続してほしい。	・今後も学校教育目標の「自立・創造・貢献」を具現化できるよう地域・家庭と連携して教育を推進していく。
		2	いじめの予防や改善に努め、生徒にとって楽しく通える学校にしている	Ａ＋Ｂ	94.7%	88.6%					
基礎学力の定着	・協同的な学びや協調学習を手法の一つとして取り入れ、全ての生徒の学びを保証する。 ・生徒の意識を高め、タブレット端末などを有効活用して学力を伸ばす。	3	学習内容が身につくよう「わかる授業」をしている	Ａ＋Ｂ	94.7%	80.5%	・主体的・対話的で深い学びを実現させるよう、ICT機器等も利用しながら授業を工夫した。 ・家庭での学習の成果を、生徒自らが感じるような働きかけが十分ではなかった。	Y	・授業で身につけたことを定着させるためには、家庭での学習も不可欠であるが、生徒の家庭学習への取り組み方には課題がある。その日習ったことをその日のうちに復習させるための宿題等の工夫が必要とである。	・学力差への対応について、個に応じた支援の充実が望まれる。 ・家庭学習は生徒個々に差があるので、今後も個別指導を継続する必要がある。 ・家庭学習は何をやれば良いのか、何が苦手なのを把握し、学習した成果が現れるとやる気につながると思う。 ・家庭学習に宿題等を設けることもよいが、自立ということを考えると自らが進んでできるよう次の授業にすることを示唆し、予習を促すような工夫がよいと思う。そこから自然に復習につながっていくのではないかと思う。 ・基礎向上には、学習習慣が重要。教職員にはやる気を起こさせる努力を望む。	・家庭学習の取り組みに課題がある現状を、まずは授業改善の視点から家庭学習の取り組みの改善に繋げられるよう授業研究を推進する。
		4	生徒に家庭学習の習慣が身につくような指導をしている	Ａ＋Ｂ	63.2%	64.2%					
保護者や地域との連携 コミュニティ・スクールの視点	・教育活動の様子を積極的に発信し、学校の教育内容を外に開く。 ・学校への要望や意見に耳を傾け、真摯に対応する。	5	学校だより、小中一貫だよりなどで教育活動を伝えている	Ａ＋Ｂ	94.7%	97.6%	・毎月発行する学校だよりでは、生徒の活躍を中心に中学校に関わる事柄を広く周知できた。	X	・生徒の活動の様子がよく分かる学校だよりを今後も発行していく。 ・学校運営のより良い改善のために、積極的に学校を公開し、保護者や地域の声に耳を傾けていく。	・不登校、いじめへの対応、防災などの課題に今まで以上の連携が必要と考える。 ・学校だよりは、よく生徒たちを見ていると思う。 ・公民館等を利用し、中学生が地域に携わっていることがよく分かる。今後もさらに続けてもらいたい。 ・学校行事などで、保護者の情報交換の場が増え、地域の見える化につながると良い。 ・学校だよりで学校、生徒の様子がよく分かる。	・学校の教育活動について、今後も地域・保護者の理解を得られるよう周知に努める。
		6	保護者や地域の期待や要望に耳を傾け、改善しようとしている	Ａ＋Ｂ	100.0%	89.4%					
社会性・人間性の育成	・道徳授業、学級の話し合い活動の充実を通して規律ある態度を育成する。 ・最大限の成果が期待される行事を考え実施する。	7	あいさつ・言葉遣い・決まりを守るなど、規律ある態度の育成をしている	Ａ＋Ｂ	94.7%	89.8%	・教員が最大の教育環境であることを自覚し、率先垂範すると共に言動にも細心の注意を払って教育にあたった。 ・生徒のやる気、やりがいを引き出す行事を工夫した。	X	・生徒会を中心に、生徒が自らあいさつ・決まりを守るなどの意識を高めていく。 ・行事の内容に生徒が自分たちで企画・運営出来る部分を増やし、実行委員を中心とした生徒の自主的な活動を促していく。	・今年も合唱祭は素晴らしかった。 ・地域清掃で小学生と一緒に取り組んだ際、中学生がリードし、説明している姿が頼もしかった。 ・あいさつが増えることは非行への防止策にもなり、誰にでもあいさつできることは良いことでもあるので、今後も継続をお願いしたい。 ・あいさつはよくできている。行事等での態度も良好。 ・奉仕活動を通して子どもたちに身につけさせたい力など、ねらいを教職員が明確にし一致協力する体制の確立が重要。 ・地域清掃で中学生が小学生の先頭に立ち、協同で活動できたことは、小中一貫教育の方向性の中で良いことだと感じた。	・今後も地域に貢献する気持ちが育てられるよう、小中、家庭、地域と連携して学校行事を推進する。
		8	行事の内容や実施方法を工夫し、心の育成をしている	Ａ＋Ｂ	100.0%	89.4%					
安心安全な教育環境	・地域の組織と連携して計画的に環境整備を進める。 ・委員会活動、清掃活動を充実し、きれいな学校づくりをする。	9	花植プロジェクトなど緑化を行い、潤いのある環境づくりをしている	Ａ＋Ｂ	100.0%	93.1%	・花植プロジェクトや地域清掃を計画通りに実施できた。地域清掃では小中合同でも実施できた。 ・地域の方に関わっていただいている花壇を、生徒の環境福祉委員会で管理している。委員会活動での水やりは、年間で欠くことがなかった。 ・清掃活動に前向きに取り組む生徒が多く、自らの環境を美しく保とうとする態度が育っている。	X	・花植プロジェクトや地域清掃活動を通し、子どもたちに自分たちの学校や地域を大切していく心情を育てていく。 ・清掃活動を通して、児童・生徒の心情を育てていけるよう、今後も小中で協力して指導を継続していく。	・学校内の美化、清潔感、潤いのある校舎は素晴らしいが、校外に出た時の交通事故、不審者、地域での予期せぬトラブルなどに対応するための教育も必要と思われる。 ・区画整理後の企業進出に伴う交通に懸念がある。 ・小中が離れているため、なかなか直に接する機会が少ないが、色々な場面で小学校に足を運べるよう声がけし、自由に行き来できる環境があるとよい。 ・花植えを通して、自然の美しさ、心の癒やし、季節を感じ、心豊かな人に育ってほしいと願う。 ・清掃が行き届いている。花の手入れもよくされていて感心している。	・地域清掃だけでなく、日常の清掃活動から心を込めて取り組む指導を継続していく。
		10	清掃活動を充実させ、学校を清潔に保ち、安心して使用できるようにしている	Ａ＋Ｂ	94.7%	96.7%					

X…おおむね達成している（評価結果のA＋Bの割合の全てが、8割以上）Y…改善すべき課題がある（評価結果のA＋Bの割合の全てが、6割以上）Z…取組が不十分である（評価結果のA＋Bの割合の全てが、6割未満）